

猛暑による暑さ対策について

兵庫県ミニバスケットボール連盟

競技委員長 北川篤史

いよいよ酷暑を迎える季節となりました。新しい取り組みを取り入れたリーグ戦にご協力いただきありがとうございます。

本年度は暑さも昨年ほどではありませんが、熱中症のに対する対策を講じておきたいと思います。

順位決定戦でも冷房施設の無い体育館で、例年も暑さを感じながら試合に挑んでいました。他の体育館でも風通しや施設の環境で猛烈な暑さが予想されます。県としてもこのまま試合に臨むより暑さに対応するため特別ルールを設定し、子どもたちの体調を考慮した大会にしていきたいと思います。

★特別ルール

暑さが心配されるような環境であった場合。

各クォーター3分を過ぎたところで、タイムアウトをとる。

このタイムアウトをとれるのは、ボールがデッドになっているときか、どちらかのチームがシュートを決めたときとする。

TOについてくださる大人が判断しブザーを鳴らすよう指示してください。

もしくは、審判が判断し時計を止めてタイムアウトをとってください。

このタイムアウトはメディアタイムアウトとし、30秒間の給水タイムに充てる。

ただし、作戦タイムではありません。過激な指示や戦略の話し合いにならないようスムーズな試合進行にご協力ください。

今後の順位決定戦以外でも、その日の気温や湿度、体育館施設環境によってはこのルールを適用していただき、子どもたちの体調を考えた試合進行に努めてください。

また、他の試合や市内・地区大会などでも参考にさせていただき、暑さに対応したスムーズな試合進行にご協力くださいますよう、よろしく申し上げます。